

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会

時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
新エネルギー委員長 中 島 稔
両団体専務理事 清 原 淳 平

新エネルギー委員会のお知らせ (第342回)

日 時 令和2年3月4日(水) 午後1時半～4時

場 所 参議院議員会館 1階 102会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。また、会議開始後にお越しの方は、受付に「102会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議 題 1、最近の再生・新エネルギーについて想う

挨拶 中島稔新エネルギー委員長

2、光エネルギーを用いた水素生成および運搬材料の研究

解説 宮内雅浩東京工業大学物質理工学院教授

3、「ナカシマプロペラ」のものづくり技術紹介

— テレビ番組『イクレイトカハニファイル』と中島委員長提供資料放映 —

4、『新エネルギー関連ニュースNO.192』

解説 中島稔新エネルギー委員長

報 告 去る2月5日開催の第341回新エネルギー委員会は、中島稔新エネルギー委員長が議長を務め行われました。

はじめに、中島委員長より、「最近の再生・新エネルギーについて想う」と題して開会挨拶がありました。「脱原発は国家を亡ぼし、国民を不幸にする」と主張する団体がある。日本でCO₂削減が進まないのは原発の稼働が0だからだとし、東日本大震災以降の研究で、当時より安全性は1千倍に高まっているという研究結果もある。もう一つ関心を持ったのが、慶大太田教授の「日本は石炭火力を推進すべし」

という主張。日本の石炭火力発電のクリーンさは世界一で、エネルギー変換効率も良い。石油や天然ガスは紛争多発地域の中東に依存しており、エネルギー安全保障の面からも問題だ。石炭火力でできたCO₂は地中に埋めるなどで処理可能というものだ。

次に、中島稔委員長より『新エネルギー関連ニュースNo.191』の解説がありました。今回は、○リチウムイオン電池の有機分子を2種類混ぜ合わせることで性能向上。○全固体電池を高性能化する材質の研究。ノーベル賞受賞者の吉野氏も「ブレイクスルーができた」と高評価。○工場排水に含まれるアンモニア水から高純度水素を製造し、燃料電池で発電する技術。○メタンとCO₂を水素と一酸化炭素に変換する光触媒材料。○薄膜で曲がる太陽電池の開発。○洋上風力発電、長崎五島沖で初の指定。さらに10カ所が候補地になっており、推進に期待。○二酸化炭素を低温でエネルギー資源化できる新手法。などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

次に、清原淳平専務理事より、脇慶子東京工業大学物質理工学院准教授の経歴紹介がありました。次に、脇准教授より、「ペロブスカイト太陽電池における官能基を修飾させた炭素電極の効果」と題して解説をいただきました。ペロブスカイトとは結晶構造のことで、曲げることができるのが特徴といわれる。常温でも溶液に漬ければ簡単にできる一方、イオンが自由に移動できるため、変質しやすく、不安定であるため、大規模設備が出来ず、コスト高になってしまふ。カーボンナノチューブは劣化を抑えるために太陽電池の電極に使われていたが、ここに官能基という微粒子を接合する、穴をあけるなどの手を加え、しばらく放置したところ、イオンの拡散がおさまリ、再結晶化することが確認できた。ほかの研究者は効率を競い合っているが、先生の研究室では、基礎研究を重視し、どのような材料を使えば安定化するのか、結晶の接合方法をどうすれば安定化するかという点に日々注力している。

★レクチュアにつき、当日会費 会員千円にご協力を。

次回、3月4日(水)の新エネルギー委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様のFAX _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(その際の会費は二千円となります。)

事務局宛FAX 03-3507-8587

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp

当日連絡先 080(8836)6203 (重田) 080(9292)2620 (高津)